

よみきかせボランティアのための

おすすめえほん

2016
秋号

小学1・2年に
おすすめ

『なにのあしあとかな』

やぶうちまさゆき 福音館書店(約3分)



動物画家として著名な作家の図鑑絵本。見開き頁で、動物の足跡の絵と「なにのあしあとかな」という文章で問いかけ、次頁で答えるという繰り返しで、表紙もあわせて全部で9種の足跡を紹介していきます。読み聞かせでは、聞き手とのやり取りが楽しい。『なにのこどもかな』など同形式の絵本は他にも3冊。



小学3・4年に
おすすめ

子どもに読み聞かせをする人のための 参考資料⑥

『絵本の本』 中村 稗子/著 福音館書店

保育の現場で、長年子どもたちと絵本を楽しんできた著者が、絵本にまつわるさまざまな疑問について語る一冊。「子どもが楽しむ」絵本について理解が深まる。やさしく丁寧な文章で読みやすい。



『サリーのこけももつみ』

ロバート・マックロスキー/文・絵 石井桃子/訳 岩波書店(約11分)

サリーとお母さんが、山にこけもも摘みにやってきたのと同じ時、山の反対側からは冬に備えてお母さんグマと子グマが、こけももを食べにきていました。サリーは、いつの間にかお母さんとはぐれ、間違っくマのお母さんの後について行ってしまいます。一方、子グマもお母さんを間違っく...



小学5・6年に
おすすめ

『がちょうのペチューニア』

ロジャー・デュボアザン/作 松岡享子/訳 富山房(約11分)



おばかさんのがちょうのペチューニアは、ある日、本を拾います。本を持っていると賢くなると信じていたペチューニアは、その本をいつも持ち歩き、自分が賢くなったと思ひ込み得意顔。そこで、次々と動物たちの相談にのりますが、見当はずれの答えばかり…。ペチューニアの答えに振り回される気のいい動物たちがユーモラス。このペチューニアが登場する絵本は他にも5冊。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

子ども室カウンターでも、ご質問などをお伺いしています。



発行：福井県立図書館子ども室
(2016.9発行)

〒918-8113 福井市下馬町 51-11
Tel. 0776-33-8860

福井県 図書館

検索